



学校だより 3月号

横浜市立黒須田小学校

2020年2月25日

学年の様子など、ホームページもご覧ください <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurosuda/>



新たな出会いへ向かって

校長 岡 カズミ

各地から花の便りが届く季節となり、いよいよ今年度もひと月余りとなりました。どの学年も1年間を振り返り、次年度へ向けて準備を進めています。

さて、6年生は2月17日に保護者の皆様へ向けて感謝の会を開きました。リコーダー奏や長縄跳び、学習の成果などを発表し、家庭科で作った刺し子の布巾を渡して、感謝の気持ちを伝えました。普段なかなか言えない家族への感謝の気持ちをこの機会に伝えることができたことと思います。そして、3月5日には「6年生 ありがとう集会」や「ありがとう給食」が行われます。在校生から心のこもった歌や合奏のプレゼントを受け取ったり、下級生たちの各教室へ招待されて一緒に給食を食べたりします。

6年生は、こうした取り組みを通して卒業への気持ちをさらに高めていきます。学年目標である「大樹」～黒須田小の大樹になりたい～を今一度振り返って、悔いのない日々を過ごしてほしいと願っています。

子どもたち一人ひとりが、これまでの多くの出会いに感謝し、新たな出会いへ向かって大きく羽ばたいていく時が近づいてきています。教職員一同、これまで以上にしっかりと支えていきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には多大なるご支援とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

出会い 関 洋子

あなたに出逢えてよかった
しみじみとそうおもう
あなたに出逢えてよかった
ありがとう / ありがとう
すべてのふりかえる道が
この道へ続いていたらとおもえる日は
こころが / ありがとう
ありがとう / ありがとう



6年 学年目標 「大樹」

～黒須田小の

児童支援専任コーナー

インターネットが子どもたちにも身近なものとなる中、子どもたちはインターネットから様々な知識を身につけています。インターネットは私たちの生活に大きな利便性をもたらしていますが、使い方を誤れば社会に大きな損害を及ぼすこともあります。

学校では、現実空間と同様にサイバー空間においても「やってもよいこと」か「悪いこと」か、しっかり考えて、「悪いことはしない」という規範意識を醸成することが大切と考えています。また発達段階に応じて、「使いこなす」とは何かを子どもたちが考える機会を設けています。スマートフォンなどを迷わず使えることやゲームでハイスコアを出すことではなく、「自分のためになる（自分自身の成長に結びつく）」「周りの人のためになる」「世の中のためになる」ことに役立ててこそ「使いこなす」と言えるのだと気付かせたいと考えています。

子どもたちをサイバー犯罪の被害者にならないためにも、ネット上で誹謗中傷などの行為を行う子どもにしないためにも、インターネットを使い始める早い段階から情報社会に参画する態度について、ご家庭でもお子さんと一緒に考える機会をみつけていただけたらと思います。

